

おやま

NO. 154

2018/5月15日号

町議会だより

発行：静岡県駿東郡小山町議会

4月10日 パークゴルフ大会
パークゴルフ場のクラブハウス完成を記念して小山町パークゴルフ大会が開催されました。
心地よい春日和の下、86人が参加して楽しくラウンドしました。

一般会計・特別会計予算を可決 予算総額 過去最高 218億3100万円

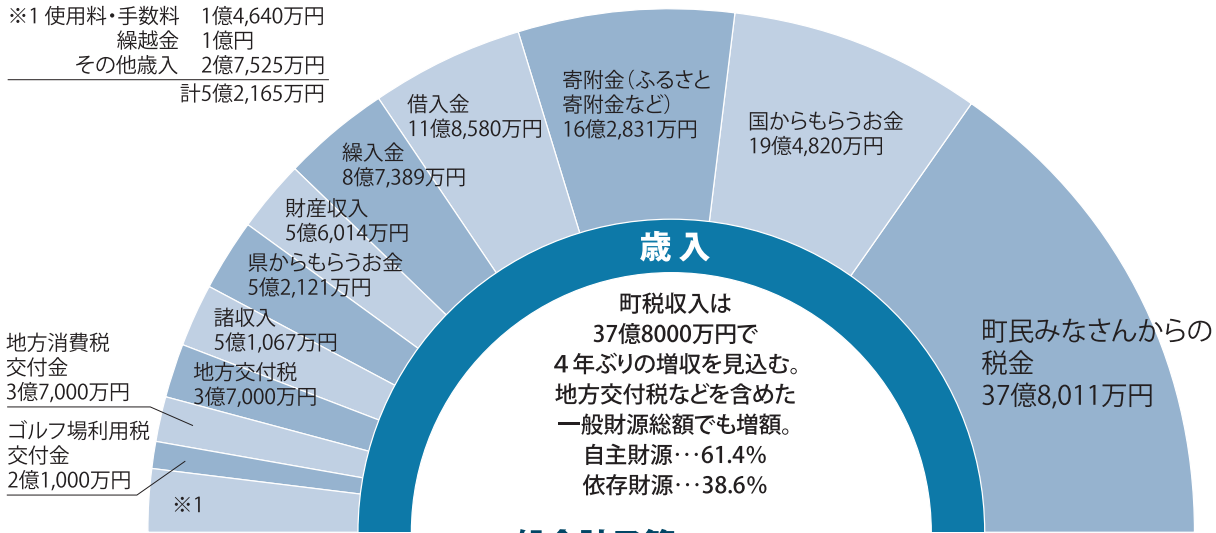
3月定例会

- ・各常任委員会 報告……………6
- ・6人が代表・一般質問 町政のここを問う……………10
- ・議会報告会を開催しました……………16
- ・明倫地区から「わたしの金太郎」……………18

平成30年度 一般会計予算 過去最高 前年度比17.7%増 総額124億8000万円の予算を可決

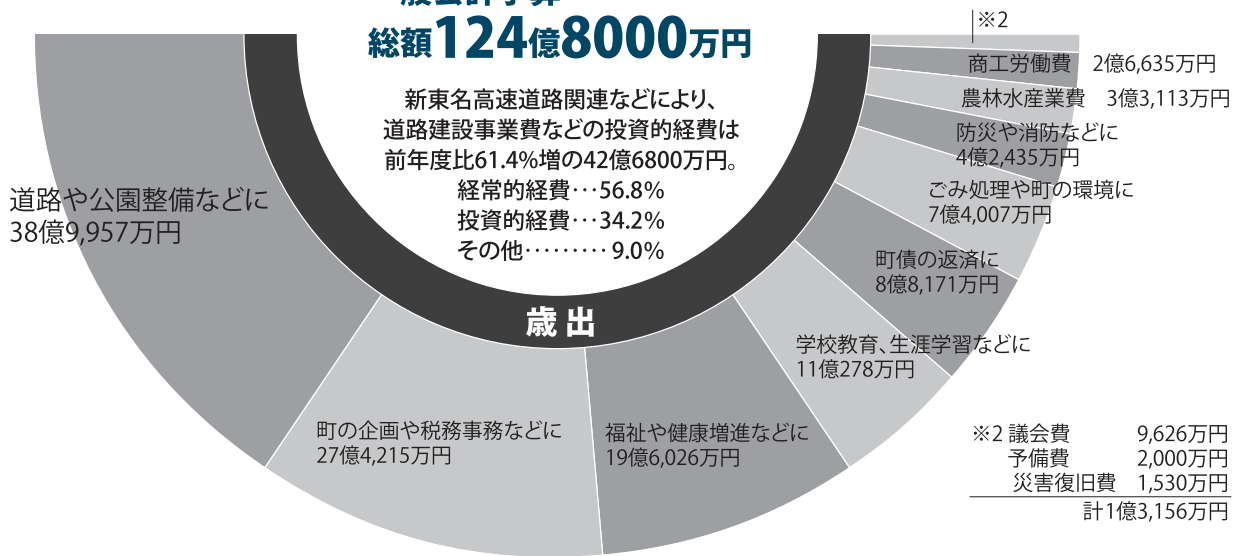
平成30年第2回3月定例会が2月20日から3月19日までの28日間の会期で開催されました。町から平成30年度当初予算など24議案、条例14議案、認定・同意等9件、議会から条例1案の合計48議案が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

※1 使用料・手数料 1億4,640万円
繰越金 1億円
その他歳入 2億7,525万円
計5億2,165万円



一般会計予算 総額124億8000万円

新東名高速道路関連などにより、道路建設事業費などの投資的経費は前年度比61.4%増の42億6800万円。
経常的経費…56.8%
投資的経費…34.2%
その他…9.0%



町長施政方針

5つの分野に重点配分

- 1 町民満足度の向上に向けた施策を推進
- 2 雇用の場の創出や賑わいづくりを目指す 三来拠点事業を推進
- 3 市街化区域の活性化を図る施策を推進
- 4 子育てに優しい町を目指し、子育て支援の充実
- 5 定住・移住を促進する施策を推進

新年度予算

特別会計

一般会計

前年度とどこが変わる?

国民健康保険特別会計

国民健康保険制度改革により、平成30年度から県が国保の保険者として財政運営を担うことになるため、保険給付費などを減額

宅地造成事業特別会計

優良田園住宅の売払収入や旧町立体育館跡地の分譲販売に係る造成費等

小山PA周辺開発事業特別会計

パーキングエリア周辺地区開発の円滑な運営を図るために設置



わさび平地区優良田園住宅の分譲を開始 人口減少に歯止めを

東京オリンピック・パラリンピック
推進事業費 **1185万円**

事務を担う地域おこし協力隊を活用して事業を推進

保健衛生管理費 AED借上料 **75万円**
町内の24時間営業のコンビニ 8店舗にAEDを配置

子ども医療費助成費 **8000万円**
平成30年10月から、県の補助事業と合わせて、現在の中学生までの助成対象を高校生相当世代まで拡大

足柄地区拠点整備事業費 **3100万円**
足柄駅交流センター実施設計とJ R東海に対する補償等

工業団地アクセス道路整備事業費 **3億8104万円**

交付金を活用し、国道246号から上野工業団地へのアクセス道路となる町道3099号線の道路改良に着手

子ども園整備事業費 **2484万円**
須走地区の子ども園整備に係る設計委託料



オリンピック・パラリンピック推進局を新設 2年後の大会に向けて準備・整備を加速

■特別会計・事業会計予算 (全て原案可決)

国民健康保険特別会計 19億3000万円 前年度比 14.3%減	育英奨学資金特別会計 623万円 前年度比 30.4%増	後期高齢者医療特別会計 2億3015万円 前年度比 10.3%増	下水道事業特別会計 2億1110万円 前年度比 4.3%減
土地取得特別会計 1億2925万円 前年度比 26.9%増	介護保険特別会計 19億1200万円 前年度比 7.0%増	宅地造成事業特別会計 4億3600万円 前年度比 88.7%増	新産業集積エリア造成事業特別会計 2億5800万円 前年度比 470.8%増
上野工業団地造成事業特別会計 21億9300万円 前年度比 20.4%減	木質バイオマス発電事業特別会計 4662万円 前年度比 82.7%減	水道事業会計 収益的支出 2億9811万円 資本的支出 3億9133万円	小山PA周辺開発事業特別会計 13億300万円 (新設)
			温泉供給事業特別会計 708万円 (新設)

質疑

本会議で予算をチエック
今年度どのようなまちづくりを

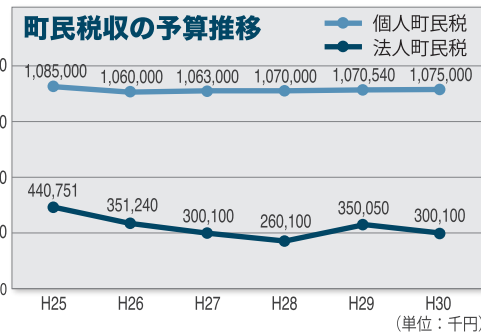
一般会計予算

●町民税の増収は景気回復によるものか？

Q 町民税の増収が、個人・法人共に昨年より増額となったが、ようやく地方にも景気回復が来たものなのか。また、近年の町民税の推移は。

A 町民税の増額は、景気の回復によるものと考えています。一つの理由として、小山・御殿場地区での昨年12月の有効求人倍率は、県平均1・6倍を上回る2・07倍を示しており、景気は回復基調にあると考えます。

町民税の推移ですが、個人町民税は、27年度からは増額傾向にあり、法人町民税では、減額傾向にあります。減額の要因は、主要企業の撤退や税制改正による法人税の引き下げによるものが大きいと考えています。



●町債の増額を心配する声があるが。

Q 町債が平成30年度も28%増の2億5920万円となった。さらに、平成29年度末の町債残高見込額は121億5622万円、膨らむ借金の財政運営を懸念する声も少ない。

A 平成30年度予算は、100年の計の基礎づくりの積極型予算としています。その財源として、

起債額も前年度に比べて増額しています。また、町債残高も増加見込みではありますが、将来的に持続可能な財政基盤を確立するために、中長期的な視点に立って財政計画を作成しています。

●土木費に偏った予算配分では？

Q 土木費の前年度比44%の突出した伸び率に対し、民生費は減額、教育費は21%の増額とはいうものの、森村橋の改修事業などが主なもので、ソフト事業での目玉はない。

「内陸のフロントエリアを拓く取組」の本格実施に伴う道路整備はよく分かるが、若干、偏った歳出編成と感ずる。

A 土木費の割合は、これまでにはない大きなものとなっておりますが、内陸のフロントエリア事業に加えて、本町でオリンピック自転車ロードレース等

が開催されることもあり、開催に向けた道路整備などが集中するもので、やむを得ないものと考えます。

一方で、新規事業では、健康寿命の延伸を図るためのクアオルト健康ウォーキング事業や子育て支援センター等の運営の充実、また、こども医療費の無料化を高校3年生相当まで拡大します。

●足柄駅舎整備の協議は整ったのか？

Q J R東海機能補償費は、足柄駅舎内の信号施設の移設に伴う補償費とのことだが、J R東海との協議はできたのか。

A J R東海とは大筋で合意が整っている状況です。現在、覚書などを交わすことができよう、内容については継続して協議しています。この合意により、費用負担や工程等がより具体的になると考えます。

反対

平成30年度予算は、124億8000万円、過去最大の規模となったが、町債は11億8500万円に上り、28%の大幅な伸び率である。町債残高は、121億5622万円に膨らみ、将来負担比率は、県下最下位である。また、バランスを欠いた予算にも疑問点が残る。土木費の大幅な伸びに比べて、民生費は減額となった。予算総額の13%を占めるふるさと納税についても不安定な要素が多い。大型開発にかく目がいきがちだが、町の現実と向き合い、住みやすい町にしていけるのかという点にも心配りをいただきたい。(高畑 博行)

一般会計予算に対する討論

賛成

町の一大事業として、三来拠点事業「内陸のフロントエリアを拓く取組」が進捗していくよう期待する。予算面などを危惧する声もあるが、このインフラ整備は、今後の町にとって必要不可欠である。また、ソフト面でも、保育料や幼稚園料の減免の継続、こども医療費無料化も期待する。(鈴木 豊)

高校3年生まで拡大される。今後、小山町は、新東名高速道路や東京オリンピック関連による道路改良整備も実施しなければならぬ。新年度予算は、町の将来を見据えて考えられた予算であり、これらの事業が速やかに執行されていくことを期待する。(鈴木 豊)

平成30年度一般会計予算は賛成多数で可決されました。

特別会計予算

●国民健康保険特別会計

Q 平成30年度から都道府県単位化に移行し、国保の保険者は県と市町、国保税の賦課・徴収・給付などは市町となる。

広域化に伴い、1人当たりの保険料と1世帯当たりの保険料は、それぞれどの程度上がるのか。

A 平成30年度の国民健康保険税率は改正しませんが、国民健康保険税については、所得等の変動がない限り変えませんが、

しかし、平成30年度から県が国保の財政責任主体となることにより、将来的に国保の課税方式を県下統一にしていいため、本町でも国保税の資産割を段階的に廃止していくこととなります。

●育英奨学資金特別会計

Q 平成30年度の貸付件数は何件か。また、学びたくても学べない子ども

たちをなくすために、進路先に応じて奨学金を増額するなどの工夫はできないか。

A 平成30年度の貸付件数は継続が10件、新規が1件になります。平成30年度予算では、特に工夫は考えていません。今後、意見などを参考にしながら検討します。

●介護保険特別会計

Q 認知症患者は増加傾向にあるのか。また、認知症をサポートする支援員の人数は足りているのか。

A 認知症は、要介護の原因疾患として上位にあり、高齢になるほど疾患のリスクは増大していきます。特に、2025年には、団塊の世代が全員75歳以上となるため、認知症患者の増加が見込まれています。

町では、平成30年度から認知症地域支援推進員を1名増員し、認知症初期の段階で発見・支援する認知症初期集中支援チームの配置を予定しています。

第7期介護保険事業では、訪問介護サービスなどとの整備計画があり、期待する事業もある。しかし、

保険料基準額は、改定の時期ごとに値上がりをして、今回は、700円

値上げの月額6200円となる。第1号被保険者数は、平成30年度から3年間で81人の増加、要介護

認定者は、わずか35人の見込である。お達者度向上に向けた介護予防策等で要介護認定

数を抑えられる期待もでき、即値上げで対応すべきでない。誰も訪れる最後の介護問題、今まで働き

続けて社会を支えてきた高齢者を国や自治体が支えるときである。(高畑博行)

介護保険特別会計予算に対する討論

反対

問題、今まで働き続けて社会を支えてきた高齢者を国や自治体が支えるときである。(高畑博行)

賛成

要な保険料を見込んだ上で、介護を取り巻く様々な問題にも対応する予算となっている

介護保険は、高齢者の増加に伴い、要介護認定者が増え、介護保険給付費も増加することが想定されており、高齢者の自立支援、重度化防止、地域

の特性を活かして対応することが求められている。本町民生活の質を守るためにも、介護保険制度は、必要不可欠な制度と考える。(渡辺悦郎)

議員報酬及び特別職の給与に関する条例を一部改正

平成30年4月以降の議員報酬の額及び特別職の給与月額について、平成29年10月に当局から、小山町特別職報酬等審議会に諮問しました。

審議会での慎重審議の結果、「議会の議員報酬の額は、平成8年の報酬額改定以後、議員定数が6人減の13人となっていること、また、議員の高齢化が進む中、町の将来を担う若い世代の立候補を促すことが重要であり、30歳前後の小山町職員

の給料を参考に議員報酬の額を検討した」との答申がありました。

【改正後の報酬額】

議長1万5000円増額・月額32万円。副議長1万5000円増額・月額28万円。常任委員長及び議会運営委員長2万円増額・月額27万円。議員2万円増額・月額26万円。

小山町農村公園条例を一部改正

足柄ふれあい公園内の貸農園横にバーベキューガーデンが新設されました。農村公園の施設にバーベキューガーデンを追加するため、条例の一部改正案を可決しました。

バーベキューガーデン設備は1卓1日、2000円で使用できます。利用時間は10時から16時までとなります。(※6月から8月までは18時まで)

農園利用率の向上や地元食材の提供による農業振興にも期待が寄せられます。



足柄ふれあい公園にバーベキュー設備ができました

常任委員会

報告

3月定例会で、各常任委員会に付託された議案に対する質疑応答を報告します。

総務建設委員会 副委員長 藪田 豊造

総務建設委員会に付託された19議案について3月7日に審議を行い、継続審査中の「都市計画税条例の制定」を除く18議案については、いずれも原案のとおり可決すべきとした。(都市計画税条例の制定は閉会中の継続審査に)

一般会計予算

Q 女性活躍促進事業と若者移住促進事業の事業内容と実績は。

A 女性活躍促進事業は、町内及び近隣市町の女性を対象に女性の趣味や特技などのスキルアップを目的とした事業です。

平成29年度は、スキルアップ講座や個別相談会等に75人が参加して、2名が起業しました。

若者移住促進事業は、学生と町内企業とのマッチングや地方での起業・開業を志す若者を集めたビジネスセミナーなどによる若者の移住・定住を促進するための事業です。



女性のスキルを活用して町の活性化に

平成29年度は、学生と企業との交流会やビジネス塾などを開催して、延べ54人と町内及び近隣市の企業が参加しました。

Q 再造林試験場整備事業の内容は。また、試験場はどの場所になるのか。

A 町内の人工林は、高齢級の森林が大多数を占

めており、林齢の平準化を調査・研究するために、再造林試験場の設置を考えています。林野庁や静岡県森林林業研究センターで研究している花粉を抑制したスギやヒノキなどの苗木を植林して、樹種転換を踏まえた町の風土にあった生産性の高い品種のデータ収集と検証を計画しています。

試験場は、上野地先の町有地、3ヘクタールを計画しています。

Q 都市計画道路整備事業費の予算の内訳については、用地費や物件費が主であるが、平成32年の新東名開通に工事は間に合うのか。

A 当工事は、平成30・31年度で町道一色中日向線の交差点までの約500メートルを完成させたいと考えています。接続する市街化調整区域内の区間については、市街化

区域の都市計画道路と合わせて、平成32年度までの整備を目標に進めていきます。

Q 橋梁長寿命化修繕工事の計画と進捗状況は。

A 平成26年度から5カ年計画で工事を進めています。平成30年度までに15橋の工事を予定しており、現在までに7橋が完成しています。

残りの橋は、主に東名高速道路の跨道橋で、橋の下から工事が出来る範囲をネクスコ中日本株式会社に委託施工し、町は橋の上から出来る範囲を施工します。

Q 電線共同溝詳細設計の事業箇所と概要は。

A 事業箇所は、須走地内の県道足柄停車場富士公園線(須走本通り)です。国道138号は、無電柱化の話が進んでいます。その続きとして、防災面

水管と耐震性がある新管の布設状況は。

A 第6期拡張計画事業では、新設管布設の延長は2.4キロメートル、既設管の更新工事が32.5キロメートル、合計34.9キロメートルを計画しています。第6期計画の最終年度となる平成38年度末で、水道管総延長は168キロメートル、耐震化率は約41%となります。

現在の水道管総延長は、165.3キロメートル、耐震化された管路が36.5キロメートル、耐震化すべき管路は128.8キロメートルで、耐震化率は約22%です。

下水道事業 特別会計予算

Q 須走地区の下水道接続率は。

A 現在の接続率は約96%です。

水道事業会計予算

Q 第6期拡張工事を行うが、新設工事延長と拡張工事完成後の総延長は。また、現時点での古い給



改修する農村活性化センターを視察



老朽化した水道管を計画的に布設替

『都市計画税条例の制定』について

継続審査中の中間報告

平成29年12月定例会で提出され、総務建設委員会で閉会中の継続審査としている「都市計画税条例の制定」について、最終日に総務建設委員会から中間報告の申し出があり、継続審査の審議内容について、次のとおり報告しました。

12月5日 委員会

Q 出前講座で説明し、町民の理解が得られたと判断した理由は。

A 町内各地区5箇所です。3回、合計15回の説明会を実施しました。その後、出前講座等で500人を超える町民に、町全体の方向性から市街化区域のあり方について説明を行いました。出前講座後は、反対意見は直接聞いていません。

Q 町内には年金暮らしの方が多く、条例が制定されれば、町民の税負担が増える。

A 税条例においては、福祉的や扶助的な仕組みをつくることは難しいと、

当初の説明会からしています。生活が苦しい方には、福祉的な面での政策をとっていきますとの回答を一貫して続けてきました。

Q 条例を制定することで、いつ頃に小山町が健全な財政状況となり、活性化した町づくりができるのか。

A また、どのような見通しを持っているのか。

A 市街化区域を整備する理由として、市街化区域内の農地を宅地化して、現在、雇用の場の促進として市街化調整区域を進めている事業と共に、住む場所を造ることを目的とします。

本町の財政を示す指標

は、県内では決して良い方ではありません。これを改善していくためには、税収を上げるための企業誘致であったり、総合的な施策を打ち出していく必要があります。

「いつ頃から財政が改善するのか」との回答は難しいですが、それに向けて努力をしていく上で、都市計画税の導入は、一つの施策としてご理解いただきたいと思います。

Q 都市計画税の必要性は、広報おやまや出前講座などで説明してきたが、これまでに「出前講座を開催している地域と開催していない地域がある。」

また、線引きの経緯なども説明しなければ、町民の理解は得られないのではないのか。

A 議会での議決次第ではありますが、条例の施行までに1年以上あるのでは、その間もこれまでの

説明では足りなかった点や町の姿を丁寧に説明していく必要があると感じています。

極めて重要な条例制定であることから、議会でも慎重・審議する必要がありますが、継続審査にしたいとの提案がありました。採決の結果、全員賛成で閉会中の継続審査にすべきと決しました。



都市計画道路・大胡田用沢線の延伸箇所

2月5日 委員会

Q 都市計画道路・大胡田用沢線について、一色中日向線から西側を町道として整備する計画だが、その内容は。

A 都市計画道路・大胡田用沢線と市街化調整区

域の区間をつなぎ、町道整備として実施します。現在、詳細設計を進めており、来年度から用地買収と物件補償に入り、工事に着手します。

大胡田用沢線は、その先の町道用沢大御神線に接続します。北部幹線から県道須走小山線までの区間を現道拡幅事業として進め、新東名まで接続することを計画しています。

Q 近隣市町での都市計画事業や都市計画税の充当先、また、課税対象地目から山林や原野を外したことを住民にも十分に説明すべきであった。

市街化区域と調整区域との不公平感の違いなどについても町民への説明が必要ではなかったか。

A 説明会でも市街化区域と調整区域の不公平感の意見が多くありました。今後機会がありましたら、十分に説明をしたいと思えます。また、他市町の都市計画税と事業費との比較については、言及をしていなかったの

で、今後、具体的に数字で示していきたいと思えます。

Q 町民の理解が得られないまま、未来を見据えても何もしない。もう一度、説明会を開催してはどうか。

A 市街化区域の再開の方法や町が取り組んでいる施策などと合わせて、将来、町をこのよう形にしていきたいとの説明をしていきます。その上で都市計画税についてもご理解いただきたくいと思えます。

先進地を視察後、再度、審議をしたいとの提案があり、採決の結果、全員賛成で視察を実施することに決定しました。

3月7日 委員会

3月に視察を実施する予定であったが、視察先との日程調整が合わず、実施できなかった。視察を4月以降に実施して、再度審議するために継続審査を延長したいとの提案がありました。

採決の結果、全員賛成で、さらに閉会中の継続審査にすべきと決しました。

文教厚生委員会に付託された11議案について
3月8日に審議を行い、いずれも原案のとおり
可決すべきとした。主な内容は次のとおり。

一般会計予算

Q (仮称)すばしりこども園の建築基本・実施設計では、どの位置に配置して、どのような建物を計画しているのか。

A 現在の須走幼稚園の横、町営住宅がある箇所
に拡張を考えています。
建物は0歳児から2歳児
までの保育室及び給食室
等を計画しています。



こども園化に向けて拡張を計画(須走)

Q クアオルト健康ウォーキングは、2コースを予定しているが、どの地区で計画しているのか。

A 2コースの場所については、現在、考案中です。
計画案として、町内に
ある5つの「金太郎まち
づくり推進協議会」で、
地区ごとに健康法やコー
スを発案・候補に挙げて
もらい、どのコースが適
しているのかを選定して
進めていきます。

クアオルト(Kurort)..
ドイツ語でクア(Kur)は
「治療・療養」とオルト
(Ort)「場所・地域」を合
わせた言葉で「療養地」と
いう意味になります。

クアオルト健康ウォー
キングは、ドイツのクアオ
ルトで活用されている、気
候性地形療法的手法や
コースの基準を基本とし、
日本の自然環境や気候に
適合させ、路面の傾斜や変
化、安全対策などに配慮し
た運動療法です。

国内では、山形県上山
市など各地で活用され、
年々増えています。

Q 子育て支援センター「きんたろうひろば」での独自の事業は。

A 約2カ月に1回程度、
子育てに関わるイベント
等を行っていきます。ま
た、各保育園でのペンギ
ンランドとも連携し、様々
な事業を行いたいと考え
ています。

総合文化会館の横に設
置したので、図書館の図
書を使ったイベントも計
画し、今後、発展してい
くと考えています。



親子連れで賑わう「きんたろうひろば」にはカフェも併設

Q 生涯学習センター指定管理料について、指定管理前との費用対効果はどのように表れているか。

A 指定管理者との間で、
指定管理料については、指
定管理前との費用対効果
はどのように表れているか。
指定管理料については、指
定管理前との費用対効果
はどのように表れているか。

1000万円以上の予算
で自主文化事業を8本以
上開催すると取り決めて
います。毎年10数本の自
主文化事業を実施してい
ただき、精一杯取り組ん
でもらっています。先日
行われた公演も満席にな
るなど、指定管理導入の
効果は上がっていると考
えています。

Q パークゴルフ場内のクラブハウスが完成し、また、認定コースも獲得となれば、利用者は増加する。

将来的にはパークゴル
フ場の管理は、指定管理
などを導入するのか。

A 将来的な管理方法に
ついては、指定管理も視
野に入れながら検討して
いきます。

Q パークゴルフ場の利用者からは、駐車場の整備と県道への出入口が危険との声を聞く。

A 駐車場の改善予定は。
駐車場の荒れていた箇
所は整備しました。

駐車場の出入口につい
ても、改善に向けて検討
しています。

していきたく思います
が、当面の間は、右折禁
止の表示をして、左折の
誘導を考えています。



新しいクラブハウスで利用しやすく(吉久保)

Q 小学校への外国人英語指導員(ALT)は、何人派遣されるのか。

また、各学校への配置はどのようになるのか。

A ALTは2人になり
ます。各小学校5校に2
人を配置して英語指導を
行います。

Q 青少年補導員は何人で、どのような方が補導員に従事しているのか。

A 青少年補導員は、各
地区PTA会長などの学
校関係者です。定数は15
名で、青少年の補導活動
や相談、関係機関及び団
体等の連絡などを行って
います。

Q 森村橋の復原工事完成後のライトアップは年間を通じて行うのか。もしくは、夏期や時期を限定して行うのか。

A 年間を通じてライト
アップを計画しています。
ただし、深夜に影響が及
ばないように時間を設定
する予定です。



復原工事後の森村橋(完成イメージ図)

国民健康保険 特別会計予算

Q 国民健康保険税や保険給付費が増額となっているが、被保険者はどの程度減っているのか。

A 1人当たりの医療費はどの位増えているのか。
A 平成30年度の被保険者数は、160人減の4013人を想定しています。また、1人当たりの保険給付費は32万8428円で、7256円の増額となります。

後期高齢者医療 特別会計予算

Q 後期高齢者医療保険料が、1人当たりの平均額では6万4973円となり、2239円の増額となった。県全体のみならず、本町でも75歳以上の医療費増加傾向が顕著であると理解してよいか。

A 平成27年度から28年度では、1人当たりの医療費は若干下がっています。平成29年度分は、集計のため数字が出ていません。

介護保険料 特別会計予算

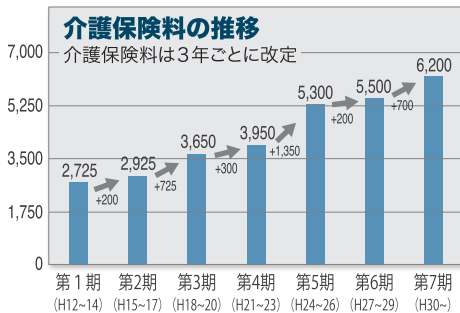
Q 特定健康診査の受診率は向上しているのか。
A 受診率は、平成29年11月までで49.3%、昨年同時期の47.2%よりも上回っています。

Q 第7期保険料では700円の負担増となる。施設に恵まれた環境にあるため、施設型介護サービスなどに係る給付費は高額となるが、介護保険料を引き上げなくて済むような長期的な展望は持てないか。

A 介護保険給付費を抑えなければ、保険料を抑えることはできません。そのためには、介護予防

を推進していくことが第一と考えます。
 特定健診や健康指導のほか、お達者度の向上など町民が健康になることで、要介護になることを防止し、町全体が元気でいられる環境をつくっていくければ、介護保険料の減額にもつながっていくと考えています。

また、在宅医療と介護の連携を図り、在宅介護を選択できるような体制づくりを進めていきたいと考えています。



国民健康保険法の 一部改正に伴う 関係条例の整理に 関する条例について

Q 6年間の激変緩和措

置期間内で賦課方式の統一が図られる。地方税法上、応能割は50%だが、本町では60%である。なぜ60%なのか。
A 応能割は法令では50%となっていますが、50%にすると均等割、平等割を上げざるを得ず、低所得者への負担増となることから、総合的に判断して、現状では60%としています。

Q 資産割を廃止して所得割に添加し、平成31年から段階的に移行とのことだが、何年で完了するのか。
A 資産割の廃止については、平成31年度、33年度、35年度で段階的に廃止を想定しています。

Q 資産割廃止に伴う賦課方式の変更により、町民のほとんどに国保税の変動が生じるのか。
A 現在、資産割等の賦課されている方が5割から6割近くいます。その方々については、影響が出ると考えています。

教育振興基金条例の 制定について

Q ふるさと寄附金の寄附目的『生きる力を育む教育の充実』を選択した寄附金を積み立てるようだが、見込額をどの程度に抑えているのか。
A 平成30年度では、概ね8000万円を見込んでいます。

介護保険条例の 一部を改正する 条例について

Q パブリックコメントと介護保険等総合会議では、どのような意見があったのか。
A パブリックコメントでは、特に意見はありませんでした。

介護保険等総合会議では、移動支援サービス等について、町の巡回バスだけでは利便性が低いため、対策を考えて欲しいとの意見がありました。本町では、実施している事業者がないため、平成32年度までに対応できるように体制を計画しています。

そのほかに、人材不足の対策を求める意見をいただきました。生活支援サポーター養成事業などで研修を開催し、無資格の方も活用できるように計画しています。



御殿場市社協が提供する外出支援サービス

Q 介護保険給付費が第7期では11%増の約55億円となる。介護予防策に重点を置いて、この伸びは避けられないか。
A 高齢者の人口が伸びていること、また、1人当たりの介護給付費自体が伸びているため、どうしても上げざるを得ない部分があります。

介護予防事業、在宅介護と医療の連携を推進していきたいながら、介護給付費を抑えていくことが課題となっています。

代表・一般質問に6人が登壇

〈町政のここを問う〉



池谷 弘
(おやまの会)

代表質問 (一括)



ヨーロッパで人気のロードレース 世界中から観客が訪れる
(写真:富士山国際ヒルクライム 須走本通り)

Q 30年度一般会計予算での重点実施項目と課題対応は

A 5つの分野へ重点的に予算配分し、事業実施します

平成30年度一般会計予算は、124億8000万円で17・7%増の積算予算である。

- ①町民満足度の向上に向けた施策
- ②雇用の場の創出や賑わいづくりを目指す
- ③三来拠点事業の推進
- ④子育てに優しい町を目指し、子育て支援の充実
- ⑤定住・移住を

促進する施策、これら5つの分野に重点配分しており、どれも町の発展に重要で広範囲にわたる事業である。

Q 平成30年度予算で積極的に実施したい内容は。

A 町長 当初予算では、小山町総合計画の基本目標に沿った基本施策を着実に

推進するとともに、小山町を元気にする「金太郎大作戦」第二章を推進するための編成を行いました。そこで、重点配分した5つの分野において、積極的な事業の実施を図っていきます。

Q 平成32年に本町で開催される米のオリンピック「米・食味分析鑑定コ

ンクール 国際大会」への取り組みは。

A 町長

本町が主体となり、J A御殿場や御殿場市などの関係機関と実行委員会を立ち上げます。また、食味官能審査の開催や出品費用の助成など、コンクルのPRや金賞受賞を目指して、大会の成功に向けて取り組みます。

Q 東京オリンピック自転車ロードレース等の対応は

A 大会組織委員会等と協議を進めていきます

2020年東京オリンピック自転車競技ロードレースのゴールや個人タイムトライアルの発着点が小山町に決定した。

は、関連自治体等と連携して大会組織委員会等と協議します。

Q 御殿場市や裾野市、山中湖村等のロードレースのコースとなる周辺自治体との連携は。

A 町長

既に静岡県、御殿場市、裾野市と合同で情報交換会を開催したことから、今後は推進体制を構築し

Q 同時進行する内陸フロンティア事業と道路補修整備などの相互事業の関連をどのように図っていくか。

A 町長

オリンピック等の競技や来訪者の通行に支障を来たさぬように、関係者と協議を重ねる必要に応じて補修等を行います。

Q オリンピック開催に向けた自転車を活用したづくりは。

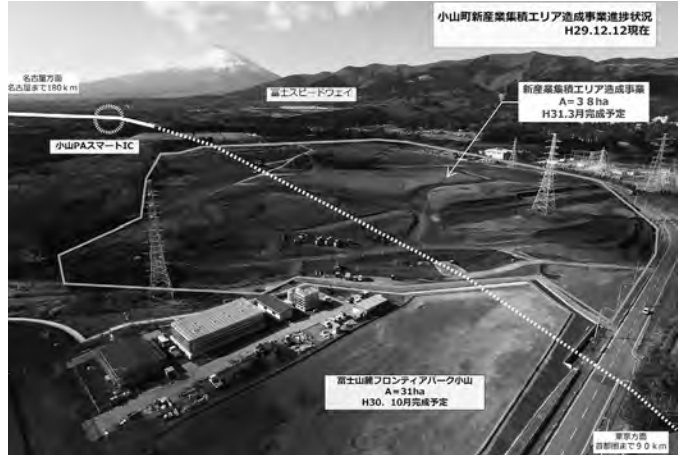
A 町長

町民の自転車ロードレースに対する理解と関心を高めて、「サイクリストが集うまち」の実現を目指していきます。

一般質問
(一括)



鈴木 豊
(新生会)



新東名・小山スマートICの交通利便性を活かした企業誘致に期待
(写真:湯船新産業集積エリア)

小山町テレビ共聴組合は自主放送により、小山町議会や町長年頭インタビュー、町主催の各種行事、各地区での行事などを放映している。

今後、町の情報が全町に配信されて共有できることは、防災面や行政面でも非常に有効的手段と考える。

町民にとっても、テレビをつけるだけで、町のさまざまなことが分かることは、非常に有益なことであり、今後も引き続き積極的に情報提供と

取材を受け、協力体制を築いていきます。

伸びないことも想定されます。しかし、町民に対する町の情報発信の手段や方法としては、有効な媒体であることから、ケーブルの架線に対する支援については、今後検討していく必要があると考えます。

Q 町と小山町テレビ共聴組合との関わりは
A 今後も情報を提供し、協力体制を築いていきます

現在の進捗状況と町長の評価は。

町長 工業団地造成や住宅団地整備などの事業は、概ね順調に進み、県内でもトップを走っていると評価しています。

足柄スマートインターチェンジ供用後の交通状況等の変化や地元からの要望等を踏まえ、必要な安全施設の設置を検討していきます。

湯船原地区工業団地の企業誘致について、現在の状況と今後の見通しは。

町長 現在の成約は1社ですが、複数企業から具体的な進出の相談があり、今後の成果が見込めます。

湯船原地区の造成工事の環境対策や防災対策の考えとPRは。

町長 広報等により町民の理解促進に努めます。

Q 「内陸のフロンティアを拓く取組」各事業の進捗は
A 工業団地造成など、事業は概ね順調に進んでいます

各推進地区において、整備が着々と進められているが、今後進めていく上での課題を問う。

足柄スマートインターの開設が間近となってきた。桑木地区の複合施設開発後の幹線道路への安全対策は。

湯船原地区工業団地の企業誘致について、現在の状況と今後の見通しは。

公募を行い、11月に大和ハウス工業株式会社を選定した後、同社を事業協力者とした協定の締結に至りました。



伊豆市は(一社)静岡県助産師会と協定を締結
災害時に妊婦等に健康診査などの巡回相談を行う
(写真提供:伊豆市健康支援課)



渡辺 悦郎
(おやまの会)

Q シルバーエイジを活用した人材バンクの創設を A 慎重に検討していく必要があると考えます

2020年に東京オリンピック・パラリンピック自転車競技ロードレースのゴールとタイムトラ

イアルが本町で開催されることになり、選手をはじめ各国から訪れる方々への対応が必要となる。定年退職をされた住民の中には、語学が堪能な方もいると聞く。また、就業時に培ったスキルや

特技などを活かしたサポートも必要になると考える。

就業と県内企業の人材確保を支援するため、長年培った技術や経験を有する高齢者と、そうした高齢者人材を求める企業とのマッチングを促進する仕組みとして、静岡県が設置した「シニア等人材バンク」があります。

それぞれの能力を活用して、町民が輝ける場を提供するためにも人材バンクを創設すべきと考え、町の考えは、

A 町長 地方公共団体が設けている例として、高齢者の

今年3月1日現在の登録状況では、求職者数105人、求人企業数44事

業所、求人数63件とそれほど多くありません。従って、本町における人材バンクの創設については、対象とする年齢層の設定にもよりますが、慎重に検討していく必要があると考えています。

Q 災害に備えて、県助産師会との災害時支援協定は A 災害時支援協定の締結に向けて進めていきます

災害発生時には多くの支援が必要となる。一昨年の熊本地震の際にクローズアップされたのが、避難所等における乳幼児と母親に対するケアで、特に環境変化による乳房ケアの必要性について報道された。

静岡県も県助産師会と「災害時における母子支援等の協力に関する基本協

定の締結に向けて協議を進めている。

また、県内でも伊豆市や磐田市が県助産師会と災害時の協力協定を締結している。

静岡県も県助産師会と「災害時における母子支援等の協力に関する基本協

定」の締結に向けて協議を進めている。

また、県内でも伊豆市や磐田市が県助産師会と災害時の協力協定を締結している。

Q どの範囲を想定して、協議を進めていくのか。
A 健康増進課長 伊豆市と磐田市の協定を参考にしながら、内容や範囲について検討していきます。

静岡県も県助産師会と「災害時における母子支援等の協力に関する基本協

定」の締結に向けて協議を進めている。

また、県内でも伊豆市や磐田市が県助産師会と災害時の協力協定を締結している。

Q 本町でも災害時支援協定を締結すべきと考え、町の考えを伺う。
A 健康増進課長 小山町及び御殿場市内

静岡県も県助産師会と「災害時における母子支援等の協力に関する基本協

定」の締結に向けて協議を進めている。

また、県内でも伊豆市や磐田市が県助産師会と災害時の協力協定を締結している。

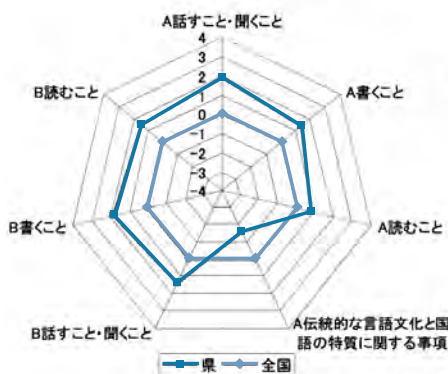
Q 本町でも災害時支援協定を締結すべきと考え、町の考えを伺う。
A 健康増進課長 小山町及び御殿場市内

一般質問
(一問一答)

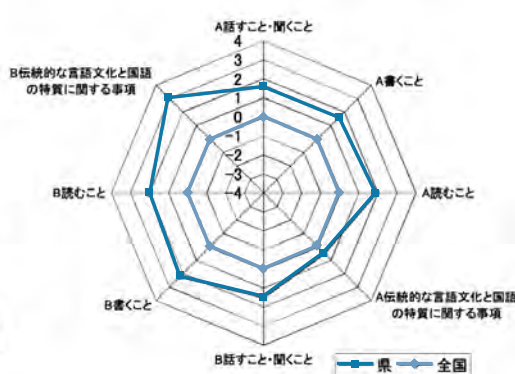


佐藤 省三
(おやまの会)

領域ごとの平均正答率<小学校>



領域ごとの平均正答率<中学校>



国語は県内の小中学校共にB問題の平均正答率が全国を上回る
(静岡県全国学力・学習状況調査結果速報分析より)

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果と対策は
A 全体的に小学校はやや下回り、中学校は若干上回ります

Q 昨年4月に全国学力・学習状況調査が行われ、秋には全国や静岡県の結果が公表された。

A 習得、活用、探求の学習過程を見通した学習指導の工夫改善に取り組んだ学校では、児童生徒の平均正答率よりも高い傾向が見られた。授業中、児童生徒は、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立て方などを工夫して、発言や発表を行うことができていると回答した学校でも平均正答率が高い傾向がみられた。また、児童生徒の自己肯定感も増加傾向にあるようだ。

Q や下回り、中学校は若干上回る結果になっていますが、本町は児童・生徒数が少ないため、平均正答率だけの傾向では捉えられません。

A 学力調査で正答率の高かった問題は、また、正答率の低かった問題は、**A 教育長** 正答率の高かった問題は、小学校国語では「漢字を読む」「ことわざの使い方を選択する」など。算数は「平均を求める」「立方体の展開図から考える」などです。

Q 構成や展開、表現の特徴について自分の考えを持つ」などで、数学では「関数の意味を理解する」「与えられた情報から必要な情報を選択し、事象に即して解釈する」などです。

A 全国や県下と比較すると、学力の状況はどのような傾向にあるのか。**A 教育長** 小学校・中学校国語では、漢字の読みはできていますが、書くことに課題があり、語彙量も少ないという傾向があり、自分の考えを説明することに課題があります。

Q 町ではどのような対策を考えているか。**A 教育長**

学年に応じた漢字を日常生活や学習の中で用いるようにしたり、ドリル大会などを実施して、学校全体で学力向上に努めています。語彙量を増やし、表現力を豊かにすることについては、人との会話や読書時間を増やしています。また、自分の考えを説明することについては、授業の中で、子ども自身が自分の言葉で説明する機会を多く取り入れていきます。

Q 全国や県全体と比べて、本町の学力や学習状況の傾向を一般的にどのように捉えているのか。**A 教育長**

A 全国や県全体と比べると、全体的に小学校はやや下回り、中学校国語では「文章の方を記述する」などです。

低かった問題は、小学校国語は「漢字を書く」「理由を明確にしてまとめる」などで、算数では「仮の平均を用いた平均の求め方」などです。



調査結果の分析は県のHPで閲覧できます



目に見えない障がい伝えるヘルプマーク
困っていたら声かけなどの思いやり行動を



池谷 洋子

Q 障がい者の方へ配慮 ヘルプマークの普及・促進を A 「思いやり行動」を行えるよう理解と周知を図ります

ヘルプマークは難病や内部障がいの方、人工関節を装着されている方、初期の妊婦など外見からは分からなくても援助や配慮を必要としている方が、そのことを示すためのものである。

ヘルプマークと一体で緊急連絡先や必要な支援方法などが記載されているのが、ヘルプカードである。

聴覚・視覚的障がい者や認知症の方などが、周囲に支援を求めるときには欠かせない。また、災害や大震災など緊急事態が起きたとき、障がいを抱えた方に接するツールとして非常に有効的である。国もJIS規格として、統一的な決定を行い、地方公共団体の普及・啓発の取り組みなどを支援している。

東京オリンピック・パラリンピックの自転車競技のゴールが本町に決定した。国内外から多くの

方が来町する。助けを求めたくても、自分から声を出せない人もいる。その人たちが、当たり前のように「手を貸してください」と言える社会をつくるべきではないだろうか。

Q ヘルプカードとヘルプマークの推進について、町の考えを伺う。

A 町長

静岡県では、2月5日から県内各市町の障害福祉担当課や各保健所などで「ヘルプマーク」の無料配付を開始しました。配付しているヘルプマークは、ヘルプカードの機能を併せ持つもので、同封のシールに支援を必要とする方が周囲に伝えたい情報や必要とする支援内容などを記入し貼り付けることができるものです。

町では、3月1日現在、住民福祉課の窓口でヘルプマークの趣旨をご理解

いた上で、必要とする11人の方に配付しました。

Q この制度が、隅々まで広がるように役場での配付だけでなく、事情をよく知るケアマネージャーや民生委員を通じて配付することは可能か。

A 町長

ヘルプマークの携帯を推進するためには、支援などが必要な方に携帯していただくことはもちろんですが、支援を行う側の方々に、その趣旨を正しく理解していただくことが重要です。皆様ヘルプマークの趣旨を正しく理解し、支援が必要な方への「思いやり行動」を行える環境の整備を推進します。



静岡県が制作したヘルプマーク普及ポスター

一般質問
(一問一答)



高畑 博行



保育士不足は全国的な問題となっている
待機児童解消に向けて保育士の確保を

**Q 上乗せ助成で18歳までの医療費無料化は
A 県の制度拡充に合わせ、医療費無料化を実施します**

静岡県は、本年10月から18歳までの医療費助成を拡充する方針を決定した。この決定を受けて本町としては、どう対応するのか質問する。

負担する額はどの程度か。

A 健康増進課長

Q 以前、町長は「県の実施時期、補助率等の動向を注視しながら検討する」と表明していた。今回の決定を受けてどう

A 町長
県の制度拡充の実施時期に合わせ、平成30年10月から高校生相当までの制度拡充をするべく、準備を進めています。

A 健康増進課長
対象人数は450人を見込んでいます。町独自で負担する額は、約2200万円を試算しています。

A 健康増進課長
町では、入院・通院時の自己負担を求めず、県の助成対象外となる所得超過者や入院時の食事負担額についても助成対象とし、受診時の自己負担はありません。

Q 4月1日時点での対象人数を伺う。また、上乗せ助成をして完全無料化した場合、町が独自で

Q 他市町に乗り遅れると、住民感情を考えた場合に好ましくないと考えるが。

子育て世代の定住促進につながる手厚い制度としています。

**Q 待機児童解消に向けた見通しは
A 本年4月では、待機児童はゼロとなる見込みです**

昨年12月の総合教育会議で待機児童数が32人であることが判明した。待機児童解消に向けた見通しについて質問する。

0歳から2歳までの入園希望者や支援を必要とする園児が多く、必要な保育士の数を確保できなかったことなどが原因です。

内訳は0歳が18人、1歳が14人、2歳が6人です。園別では、きたごうこども園が20人、菜の花こども園が13人、すばしり保育園が3人、すがぬま保育園が1人、町外の園が1人となっています。

A 教育次長
保育士資格有の場合は、正規職員給料相当の賃金額にしたり、有給休暇の日数を勤務年数に関わらず、6か月当たり10日付与することになりました。

Q 待機児童の原因と今後の対応策の基本的な考えを教育長に伺う。

A 教育長

Q 待機児童数を年齢別、園別に教えてほしい。また、4月以降の数は。

Q 臨時保育士の給与等、

保育料第2子半額、第3子以降が無料になり、

2月1日現在、38人で、

隣市町の待遇を上回っていると認識しています。

平成30年度 議会報告会を 開催しました



平日の夜にも関わらず大勢の方にご参加いただきました

4月19日に総合文化会館で議会報告会を開催しました。

前半に議会の活動報告として、総務建設委員会と文教厚生委員会から、主に3月定例会で審議された今年度予算や主要事業について報告しました。

後半の意見交換会では、委員会ごとにテーマを設けて、ワークシヨップ形式で参加者の方々と意見を交わしました。今回は、女性の方にも大勢ご参加いただき、貴重なご意見やご質問が多く寄せられました。

頂いたご意見等は、今後の議会活動や町政発展の参考とさせていただきます。

今後もより多くの方に参加してもらえよう、アンケートを基に内容や開催日等についても改善してまいります。



雇用と定住人口の増加を（総務建設委員会）

総務建設委員会

三来拠点事業による雇用の創出と定住人口増加の方策は

▼三来拠点事業での雇用創出について

●現在、湯船原地区では、静岡県企業局・小山町・大和ハウス工業株式会社と連携して企業誘致が行っている。

●アグリインダストリーエリアでは、2社の工場進出が決定し、150人程度の雇用が発生すると見込んでいる。

●雇用は生まれるが、働き手を確保できるように努めることも重要である。

▼定住人口増加の方策は

●全国的に人口減少期に入っており、魅力ある町づくりが必要である。特に、子育て世代が安心して働ける環境を望む。

●教育環境や医療環境の整備と賑わいの創出を望む。

●特定空き家の対策や買付物難民など高齢者の対応も必要である。

●例えば、大型スーパーを誘致してみては。

▼その他

●人口減少を抑制するために宅地分譲にも力を入れている。

●都市計画区域の見直しを。

●高齢者の移動手段についても検討して欲しい。

●水道などの整備は、計画的に進んでいるのか。

●町民に対して事業計画を説明し、町民と行政が一緒になって、町づくりを進めていきたい。

文教厚生委員会

『住みよい町にするための福祉・教育』～子育て支援の各種問題について～

▼子育て支援センター「ぎんたるうひるば」の活用について

●子どもがいる家庭に対してセミナーなどを開催してはどうか。

●英語を使って遊ぶ活動などを取り入れることはできないか。

●高齢者が活躍できるような取り組みはできないか。

●土日の対応はできないか。

▼放課後児童クラブについて

●どここのクラブも指導員不足で悩んでいる。

●子育てサポーターの研修会を開き、学童指導員の手伝いができる人を確保する政策はできないだろうか。

●入所数が年々増える傾向のクラブもあれば、そうでないクラブもある。

●高校生ボランティアなどの活用をもっと進めて欲しい。

▼町内全域のこども園化について

●幼保一元化（こども園化）にするメリットやデメリットは。

●こども園になった場合、保育教育の内容に変化は

あるのか。

●菜の花こども園では、病児保育も行っている。



子育て支援のさらなる充実を（文教厚生委員会）



追悼 梶 繁美議員を偲んで

平成三十年三月六日、

三月定例会の半ばに御逝去されました故 梶繁美議員に謹んで追悼の言葉を申し上げます。また、ご遺族に衷心よりお悔やみを申し上げます。

本日、この議場で梶繁美議員に哀悼の誠を捧げようとは、今もって信じられず、議員一同、哀惜の情に耐えな

いところでありませぬ。こうして壇上に立ち、空いた十番の席を見ると、「やあ、遅れちゃって」と言いながら、あの屈託のない笑顔で、今にも議場に梶繁美議員が入ってこられるのではないかと

思われてなりません。振り返りますと、私と梶繁美議員とは、平成十

五年五月、共に小山町議会議員に初当選した同期であり、以来十五年間、町政の進展と町民福祉の向上のために切磋琢磨してきました。

お互いに初当選を果たしたとき、あなたはいち早く私たち新人議員に呼びかけ、月一度の勉強会を開き、議会用語や予算書、条例について分かりやすく丁寧に教えてくださいました。時には皆

で食事会を開き、楽しい時間を過ごしました。そのような中でも、あなたは議会のことや議員活動に話が及ぶと、熱く、力強く語っておられたことが、つい昨日のように

に想いされます。あなたは、昭和三十八

年に小山町役場に奉職され、平成十四年に定年退職されるまでの間、地方自治の発展に多大なる貢献をされました。何事にも前向きに取り組まれ、

様々な分野でリーダーシップを如何なく発揮されました。その面倒見の良いお人柄は、職員はもとより周囲の人々からも信頼と尊敬を集めておられました。

また、初当選以来、今日まで私たち現職議員にとっても、大黒柱として、大変大きな存在でした。行政経験を活かし、あなたの幅広い知識と政治的手腕は議員一同が認める

ところであり、在期中は数々の役職を務めていただきました。

一期目の経済建設委員長を皮切りに、広域行政組合議会副議長、議会運営委員長、総務建設委員長などを歴任され、諸問題の解決に誠心誠意、取り組んでおられました。平成十九年から二年間、第三十一代議長の要職に就かれ、円滑な議会運営と諸事業を的確に推進され、我々議員を牽引してくださりました。

平成二十二年九月、小山町は台風により未曾有の被害を受けました。あなたは、いち早く議会災害復旧対策特別委員会の設置を提案し、特別委員会委員長として、町の復興を誰よりも考え、国会議員への陳情を行うなど、迅速かつ円滑な災害復旧に御尽力いただきました。

そのようなあなたでしたが、平成二十五年と平成二十七年に手術を受けられ、その後は病魔と闘いながらの議員活動でした。それでも、弱音を漏らすこともなく、議員の仕事に全身全霊を傾け、懸命に生きてこられ

ました。

徐々に回復されていくお姿を見るにつけ、四期目の任期も必ずや全うされるものと誰もが信じておりました。

しかし、今年の厳しい冬がお体に障ったのか、三月定例会に入り、体調を崩され、議会三日目に途中で退席をされました。

今思えば、議会人としての責任感の強さから、無理を押し、渾身の力で出席されていたに違いありません。

ゆっくりと休んで、また、皆に元気な姿をみせてくれると願っておりましたが、三月六日の夜、あなたの突然の訃報に接し、驚きと悲しみで声も出ませんでした。

町の発展をこれからに控え、まだまだ御活躍を期待していた折での急逝に、御遺族や御関係者とはもとより、議会にとってもかけがえのない柱石を失った思いに寂寥の感を禁じ得ません。

されたあなたの御功績は、燦然と輝き、町を思う御遺志は、永く後世に引き継がれることでしょう。

私も議員一同も、あなたのお志を受け継ぎ、今後の議員活動に邁進いたしますことをお誓い申し上げます。

御家族の皆さまには、どうか悲しみの淵から立ち上がり、笑顔で強く、強く生き抜いていただきたいと思えます。それが、家族思いの梶繁美議員の願いだと思います。

人間性豊かで、接する人皆から親しまれた梶繁美議員、本当にありがとうございました。

追悼の念には限りませんが、いまでも、今も、心より御冥福をお祈りします。

これから小山町の限りない進展を見守ってくださいますようお願いを申し上げます。追悼の言葉と代表して、

わたしの金太郎

町内で小山町を金太郎のように元気な町にするために頑張っている団体・人を議員自ら訪ねてお話を伺います。



富士小山マラソン優勝、静岡県市町駅伝大会区間賞などの輝かしい活躍を遂げている未来のアスリート、菅沼の妹尾祐聖君にお話を伺いました。

Q いつ頃から走るのが好きになりましたか？
小学校1年生の持久走大会で1位になったので、うれしくて、2年生で

Q 一番好きな教科は？
もちろん体育です。球技やマット運動も好きです。
Q 将来の夢は？
野球や陸上、水泳など

Q 町に期待すること
スポーツ教室や施設を充実してもらい、子どもから大人まで気軽にスポーツを楽しめるといいなと思います。そして、みんながスポーツに興味を持つてもらい、それが町全体に広がって、スポーツを自慢できる元気な町になってほしいです。
(聞き手 鈴木 豊)

新記録を出す目標を立てて練習するうちにもっと好きになりました。
Q 昨年、町民体育大会で聖火ランナーを走ったときの気分は？

何でも期待されて、注目される選手になりたいです。

町民の皆さんに注目してもらえて、気持ちよく走れました。

町民の皆さんに注目してもらえて、気持ちよく走れました。

議員研修報告

議会広報研修

三町議会合同で紙面づくりのスキルを磨く

駿東郡町議会議長会主催の議会広報研修会が2月9日に小山町で開催されました。



講義では全国の受賞広報誌も紹介

研修会の講師に(株)議録センターの矢嶋洋美氏を迎えて、小山町・長泉町・清水町の広報委員と共に講義や実習を交えながら研修を受けました。講義では「読みたい・読みやすい議会だより」にするために、写真や見出しなどを工夫する技術とコツを教えていただきながらも、伝えるための要点や伝わる表現力がいかに難しく、大切であるのか再認識しました。

後半のワークショップでは、三町混成で実習を行い、読者の興味を引くためにはどうしたらよいか、グループで意見を発表しながら、特集記事の編集に取り組みました。表現方法や編集技法について、長泉町や清水町の広報委員と意見を交わせたことで、新しい視点にも至り、非常に有意義なものとなりました。今回の研修で学んだことを活かして、今後も議会



意見を出し合い特集記事を編集

の活動をより分かりやすく伝える紙面づくりに努めてまいります。
(記 渡辺 悦郎)

6月定例会の開催予定

6月5日【火】開会
町長提案説明

6月8日【金】一般質問

6月13日【水】総務建設委員会

6月14日【木】文教厚生委員会

6月21日【木】閉会
委員長報告・討論・採決等

いずれも、開会時間は10時の予定です。決定次第、無線放送等でお知らせします。

議会を傍聴してみませんか

●本会議は4階議場傍聴席入口で、住所・氏名等を記入後に傍聴ができます。定員は29名です。

●常任委員会は委員会開始30分前から15分前までに、役場4階会議室入口で、住所・氏名等を記入後に傍聴ができます。定員は6名です。

編集後記

梶繁美議員が御逝去された。誰もが認める議会人であっただけに、巨星墜つのは感否めない。

私は、平成19年より氏が議長であった2年間、身近でお付き合いをさせていただいた。議員としての自覚はもとより、議案書の読み方、見方まで新人議員に懇切丁寧に教えてくれたことも昨日のように思い出される。氏を知るエピソードにこういふのがある。梶氏はいつも庁舎から遠く離れた所に駐車していた。当然役場に訪れる方々を慮つてのことである。

泉下の真田氏、梶氏に恥じぬよう一致団結して、町民からの負託に添えていくことを誓つのみである。

謹んでご冥福をお祈りします。
(記 蘭田 豊造)

《編集委員》

- 委員長 池谷 洋子
- 副委員長 渡辺 悦郎
- 委員 鈴木 豊
- 委員 蘭田 豊造
- 委員 高畑 博行